

令和7年度 第2回地域福祉推進会議 議事要旨

日時：令和8年3月9日（月）午後6時30分～8時

場所：西淀川区役所 5階 大会議室

推進委員：13名

助言者：大阪成蹊短期大学幼児教育学科／准教授 鈴木大介

事務局：区役所 松井保健福祉課長、中土保健福祉課担当係長、
大里保健福祉課担当係長

区社協 加藤事務局長、安井地域支援担当係長、長谷川

1 委員長あいさつ

2 新委員紹介

A委員（民生委員長を退任されたB委員の後任として）

3 取組報告

(1) あいあいプラン進捗報告

ア 今年度の位置づけ（初年度のゴール）

- ・初年度の主目的
計画の認知→関心→参加」の入口づくり
- ・実施の柱
 - ①対面での周知（配布・説明）
 - ②区民の反応を把握（アンケート等）
 - ③広報動画の作成と活用

イ 西淀川あいあいプランの骨子

- ・基本理念
人が“やさしい” 自分が“いきる” ふだんの“つながり”が
『ここ』にある
- ・基本目標
 - ① 気にかけてよう、②やってみよう、③ともに進もう

ウ 実施状況（今年度の主な動き）

- ・企画会議（計5回）で周知方法・動画内容・振返りの設計を検討
- ・ふくふくカフェ（9月）：プラン説明・本編等配布
- ・区民まつり（11月）：周知（展示等）＋アンケート・シール調査を

実施

- ・ 広報動画作成（2月）：長編＋短編の制作と活用（社会福祉講演会（社協）、地域福祉活動連絡会等）

エ 成果

①区民まつりアンケート（認知度） 計111件

- ・ 以前から知っている： 26（23.4%）
- ・ 聞いたことはあるが知らない：30（27.0%）
- ・ 今日初めて知った： 44（39.6%）
- ・ 未回答： 11（9.9%）

⇒未認知層に到達できた一方、「聞いたことはある」層を“理解・参加”へ進める導線が課題

※設問中、プランと紐づける形で過去に推進していた計画に関する記載があったため、あいあいプラン単体で質問した場合と認知度が異なる可能性がある

②区民まつりシール調査（関心領域） 計102件

- ・ 気かけよう： 48（47.1%）
- ・ やってみよう： 32（31.4%）
- ・ とともに進もう： 8（7.8%）
- ・ 実際に取り組んでいる：14（13.7%）

※説明順の影響、雨天で詳細説明まで至らず

③広報動画の作成と活用

目 的：計画の“説明”だけでなく、身近なつながり＝福祉をストーリーで伝える

内 容：・長編（約12分30秒）＋短編（約2分40秒）

- ・ ふくふ君による説明、字幕等の工夫案

活用機会：・西淀川区社会福祉講演会（2月21日）

- ・ にしよどリンク（2月27日）

- ・ 地域福祉活動連絡会（3月12日）

⇒周知のツールができた。次年度は活用へ

(2) 広報動画上映（長編）

ア 区社協作成動画について

企画会議等で委員から受けた意見を参考に作成、今後様々な場面で使用していきたい旨、事務局から共有を行った

イ 今後の動画作成について

より子どもや外国籍の方にとってわかりやすい動画を作成し、計画・日頃の活動への認知度を高めていきたい

(3) 部会報告

ア ウェルカムバンクにしよど部会

- ・にほんごカフェ（定例）を月2回、季節に応じたテーマの交流会を実施している
- ・2月のにしよどリンクにて、多文化をテーマに話し合った
- ・定例のカフェでは、外国籍の方の参加に悩んでいる。区内の日本語学校と連携し、カフェの状況提供等行っている

イ 「ちょこっと助っ人ポイント制度」部会

- ・区広報紙きらりにしよどの効果もあり、数人ずつではあるが登録者が増えてきている
- ・活動者の交流会を実施し、意見や課題点等を伺いたい
- ・近頃、「ちょこ助チケット」が多く交換されているのは「ふくふくカフェ」である
- ・紙ベースによる情報により、ちょこっと助っ人を知る方が多くいるため、活動先や「ちょこ助チケット」交換先等がどこかわかるよう、シール等を作成し、店頭にも貼ってもらう等できると制度の可視化につながるのではないか

ウ 「となりのステキなお節介さん」部会

- ・部会のみ実施、認定会は開催していない
 - ・推薦がなく、ゆるやかに活動を継続している
 - ・推薦のハードルが高いことや、お節介さんだよりが作成できていないこともあり、認知度を高めていきたい
- ⇒・全部会において、発足当初から継続して部会員が活動を推進しているが、新たな部会員の募集、活動の拡充もしていきたい
- ・今後、部会について会議等で検討していきたい

4 計画の評価と次年度の流れ

(1) 振り返り（評価）設計と検討事項

ア プランの振り返り（評価）の枠組み（案）

(ア) 全体評価

①事務局

基本目標に紐づく11項目の振り返り実施

項目例) できていること／より推進したいこと／今後していきたいこと

②推進会議による振り返りに対する意見共有

達成度（5段階）＋理由、グループワークで提案抽出

(イ) 区民：経時把握

認知度→関心度（知っている活動／関心ある活動）

(ウ) あいあいプラン関連イベントにおける意見聴取

例) イベントの満足度

(エ) 各部会の振り返り

部会活動を通じて感じる手ごたえ、課題

イ 振り返り時期（案）

【中間】令和8年～9年、【期末】令和11年

指標：基本目標の項目ごとに検討

例) ①気かけよう：福祉意識を高める

→福祉教育を通じて教員、生徒

①気かけよう：見守り活動を広げる

→ふれあい喫茶の参加者、スタッフ

方法：インタビュー、アンケート等

ウ あいあいプラン関連イベントの検討

例) あいあいフェス実施に向けて、企画会議を中心に検討していく

(2) 次年度の重点（動画を核にした周知・活用）

ア 参加の導線づくり＝上映・周知の拡大先（案）

- ・福祉・医療・介護（病院、診療所、高齢・障がい事業所等）
- ・企業との連携（にしよどリンク、まちづくりセンター等）
- ・電子掲示板、ケーブルテレビ、コンビニ掲示等

イ ターゲットを特定した新たな周知媒体の作成

例) 小学生向けのアニメーション動画

⇒見てもらう→関わってもらうへの導線を整える

5 講評（鈴木准教授）

- ・動画内に、区役所・区社協の連絡先等掲載されていなかったため、SNS等に掲載する際は、概要欄やキャプションを活用すると、活動の参加につながるかもしれない

- ・ 動画の上映機会を増やすだけでなく、上映方法も検討していくとよい
関係者、著名人等による「見てみた動画」の発信、広告のマネジメント方法を参考にする等
- ・ 日本語学校の学生が見れる機会をつくる。学生の横のネットワークによる拡散も考えられる

6 閉会あいさつ

西淀川区役所／松井保健福祉課長

議題の承認

【委員長】

本日の議題につきまして、改めて質問等ございませんでしょうか。
ないようでしたら、皆さんの拍手で確認したいと思います。

(参加委員の全員が拍手)